

パレスチナ人権センター ラジ・スラーニ代表に聞く

長引く封鎖死にゆくガザ

人や物、自由な移動せひ

2008年12月末から09年1月にかけてイスラエル軍が行った大規模攻撃で甚大な被害を受けたパレスチナ自治区ガザの非政府組織(NGO)「パレスチナ人権センター」のラジ・スラーニ代表(56)が来日し、東京や大阪の講演などでガザの惨状を訴えている。人口約150万人が暮らすガザの現状を聞いた。

(編集委員 平田博治)



イスラエルによるガザ封鎖の解除を強く訴えるスラーニ氏

「ガザ攻撃から1年半近く経過しました。状況は、今も封鎖が続き、人や物の移動が制限され、校も工場も破壊されま

「ガザ攻撃から1年半近く経過しました。状況は、今も封鎖が続き、人や物の移動が制限され、校も工場も破壊されま

「ガザ攻撃から1年半近く経過しました。状況は、今も封鎖が続き、人や物の移動が制限され、校も工場も破壊されま

「ガザ再建のため何が必要ですか。」「セメント1袋さえ、」

「イスラエルとパレスチナの間接和平交渉が始まりました。和平は可能でしょうか。」「パレスチナ人の要求は単純明快です。ガザ、ヨルダン川西岸、東エルサレムを領土と

れています。国際社会は、状況は何も良くなりません。国際社会は、状況は何も良くなりません。国際社会は、状況は何も良くなりません。

「ガザ再建のため何が必要ですか。」「セメント1袋さえ、」

「イスラエルとパレスチナの間接和平交渉が始まりました。和平は可能でしょうか。」「パレスチナ人の要求は単純明快です。ガザ、ヨルダン川西岸、東エルサレムを領土と